



宝建設

# 広い土間とデッキでのびやかに暮らす家

神奈川・横浜市 Sさんの家

家族構成／夫36歳 妻38歳 長女8歳 長男2歳





②

### 恵まれた自然環境を満喫する開放的な家

海にもほど近い、静かな住宅地。Sさん一家はこの地に5年住み、その環境のよさから自分たちの住まいを持つことを決めた。陽光と潮風に満ちた開放的な家を求め、宝建設に声をかけることに。

「私たちの価値観についてしっかりと話を聞いてくれそうでした」。佐藤治正社長に会ったときの印象について妻はこう話す。

そして完成したS邸の外観は、黒いガルバリウム鋼板を外壁に張り、シャープな印象に。開口部周辺は杉板張りでメリハリをつけた。

大胆な間取りはSさん一家の求めたイメージを具現化したもの。家族の暮らしにフィットした、オーダーメイドの家づくりは見事に成功したようだ。

室内に足を踏み入れると土間が広がる。その大きな空間は、玄関中庭へ導く通り土間、リビングと1段上がったダイニングとキッチン、外に続くウッドデッキともひと続きとなつて、1階のフロア全體が家族の居場所に。

1階の広がりを確保するため、洗面室と浴室は2階へ。寝室子ども室と合わせ、プライベートフロアとしてまとめた。

大胆な間取りはSさん一家の求めたイメージを具現化したもの。家族の暮らしにフィットした、オーダーメイドの家づくりは見事に成功したようだ。



③

- 黒いガルバリウム鋼板でシャープに仕上げた外観。柱材で囲ったウッドデッキや植栽が柔らかな表情を加えている
- 床の段差と仕上げの違いにより、ダイニングとリビングがざりげなく仕切られた
- ダイニングの床はオーク、リビングは珪藻土配合のたたき仕上げの土間に。木質感にあふれたダイニングとクールな質感のあるリビングと、対照的な雰囲気を持たせながら、自然素材という共通項を生かして、違和感なくコーディネートをまとめた
- 12畳の土間から10畳のダイニングまでがひとつつながりに。ウッドデッキから日差しが入り、ほどよい明暗差によって空間が奥行きが生まれている



- ① 天井にはリズミカルに梁が配置された。単調になりがちなワンルームの空間にほどよいアクセントを加えている  
 ② ダイニングとキッチンの間には柱が並べられた。光や風、視線を通しながら、さりげなくキッチンを隠している  
 ③ 室内の壁と天井はクロスで仕上げたが、リビングの東側の壁だけは杉板を張った。無垢材の木目や自然な色合いが、室内に心地よい温もりを与えている

## 自然光のもたらす陰影が空間にメリハリをつけてます



④ ウッドデッキの周縁にも角材を巡らせ、外部からの目隠しとした。子どもたちの格好の遊び場に ⑤ 腰掛けなども大工の手によるオリジナルの作品



ダイニングからヒバ材の木製サッシを通じて、ウッドデッキまで連続した空間となった。アウトドアの気持ちよさを日常的に楽しめる



### [CHECK POINT]

#### デザイン

##### バランスのよいデザイン

自然素材を活用しながら、バランスのよいデザインが施されたS邸。キッチンやウッドデッキなどに施された縦方向のスリットが、意匠として美しくあしらわれたことで、空間全体にすっきりとした印象が生まれている。

## 工務店プロフィール

### 宝建設

佐藤治正社長以下、スタッフ全員に設計事務所での勤務経験があり、幅広く豊富な設計のノウハウを持つ。きめの細かいヒアリングを通じて建主が納得いくまでプランを検討。吹き抜けやリビング階段などを生かした立体的な空間構成には特に定評あり。採光や通風にも配慮し、「自然素材を中心とした健康的な住宅」を提供している。

### DATA

社名／宝建設  
代表／佐藤治正  
住所／〒213-0033  
川崎市宮前区宮崎150  
☎ 044-877-3861  
年間建築棟数／新築6棟  
社員数／6名  
建築地域／首都圏全域  
(車で1時間半以内)  
設立／1964年  
定休日／日曜  
アフターメンテナンスの対応  
・引き渡し1年、5年、10年に  
無料点検を行う



資料請求時には、会社案内(右)と近年の代表的な施工例集を送付している

### COMMENT

一般的な工務店のイメージとしては、「木の家は得意でもセンスがない」「住宅の基本性能が低い」と思われるがちですが、当社では腕のいい大工とともに、柔軟な設計力で住み心地のいい住まいづくりを提案しています。



### 佐藤治正

1964年神奈川県生まれ。日本大学建築学科卒業後、設計事務所に勤務し、住宅のほか、商業施設や病院など幅広く建築設計に取り組む。'95年に宝建設に入社。



### [MY FAVORITE]

#### 日当たりのいいデッキ

「このウッドデッキはダイニングからすぐに出ることができます。屋外の気持ちよさを毎日の暮らしの中で実感できる場所になっています。子どもたちが遊んだり、家族みんなでお茶したり。植栽を飾るのも楽しい。わが家になくてはならない場所です」(妻)



⑥ 2階の洗面台は階段の近くに配置され、家族共有の場としてカウンターを広めに ⑦ 2階の個室は階段の吹き抜けを通じて、階下とひと続きに。家族の気配が伝わる設計になっている



開口部は外壁面から後退させ、袖壁も付けて、雨や直射日光から保護

### DATA

敷地面積／173.14 m<sup>2</sup>(52.47坪)  
延床面積／107.66 m<sup>2</sup>(32.62坪)  
1階／56.31 m<sup>2</sup>(17.06坪)  
2階／51.35 m<sup>2</sup>(15.56坪)  
用途地域／第1種低層住居専用地域  
建ぺい率／60%  
容積率／100%  
構造／木造軸組工法  
本体工事費／2000万円  
竣工／2014年3月

### INSTRUMENTS

キッチン／TOTO  
窓／LIXIL(システム)  
LDの照明器具／パナソニック



階段のデザインは宝建設の得意技のひとつ。S邸では、折り紙のように軽い印象の階段をつくり上げた。階段自体も家族の居場所となっている

